

「ホテル積翠園」リニューアルオープン!

「ホテル積翠園」のリニューアルが完了し、6月30日に竣工式が行われました。

同施設は、平成29年に奥濃飛白山観光株式会社から譲り受け、市が設置する「公の施設」となりました。

現在、市は、「観光立市郡上」を旗印に掲げ、さまざまな施策に取り組んでいます。その一つに、「立ち寄り型観光」から「滞在型観光」を目指し、市内の宿泊施設のグレードアップのための改修費への助成などを行っています。「ホテル積翠園」の改修も宿泊機能を強化することで、宿泊客にとって満足度の高い宿として利用されることを目指し、客室や会議室兼レストランなどを改修しました。

改修内容

従来、客室は8室（和室・6人部屋・最大48人宿泊可能）でしたが、1階の大浴場、2階の宴会場と和室を客室に改修し、合計で**21室（洋室・2人～4人・最大約73人宿泊可能）**としました。

客室A（エグゼクティブルーム・48㎡）2室

客室B（デラックスルーム・38㎡・内1室：露天風呂付き）8室

客室C（スタンダードルーム・27～30㎡・内4室：ベランダ付き）

（各部屋の面積は延床面積）



▲エグゼクティブルーム（客室A）



▲デラックスルーム（客室B）



▲スタンダードルーム（客室C）

食事会場として、2階結婚式場及び写真室を、会議室兼レストラン4室（48席、28席、8席、8席）に改修しました。その他、施設東側を駐車場（普通自動車21台、マイクロバス2台）として整備しました。



コンセプト

改修した客室は、「郡上の地とともに、ホテル積翠園」をコンセプトに、できる限り郡上の素材や文化資源をモチーフとしたデザインとなっています。また、香を聞いて楽しむ「香道」という平安時代からの遊びがありますが、その「源氏香」の五十二図の一つである「宿木」の印をシンボルマークとして、和洋折衷の雰囲気、日常を離れゆったりとした時間を楽しんでいただけるような部屋となっています。

施設の歩み

「ホテル積翠園」は昭和39年の建設当時、「八幡観光センター」として旅館、食堂、喫茶経営などを行っていました。翌年の昭和40年には、第20回国民体育大会の相撲競技が旧八幡町で行われ、行幸啓の際には、昭和天皇・皇后両陛下が宿泊されました。また、平成10年に「ホテル積翠園」と名称変更し、平成25年の常陸宮賜杯第63回中部日本スキー大会では、常陸宮・同妃両陛下が食事にお立ち寄りになるなど、品格のある施設として利用者に親しまれています。

問い合わせ先

501-4214 岐阜県郡上市八幡町柳町511-2
郡上八幡ホテル積翠園
TEL0575-65-3101 Fax0575-65-3150
<http://www.hotel-sekisuien.jp/>